

有害プランクトン情報 R7-1号 第14報

赤潮警報

(伊万里湾)

令和7年7月28日

佐賀県玄海水産振興センター

伊万里湾でカレニア ミキモトイとシャットネラ属が
確認されています。

7月28日の伊万里湾での調査において、有害種であるカレニアミキモトイとシャットネラ属が確認されています。最高細胞密度については、カレニアは伊万里港入口（8m）の886 細胞/mL、シャットネラ属は波多津テレメータ（6m）の152 細胞/mLです。

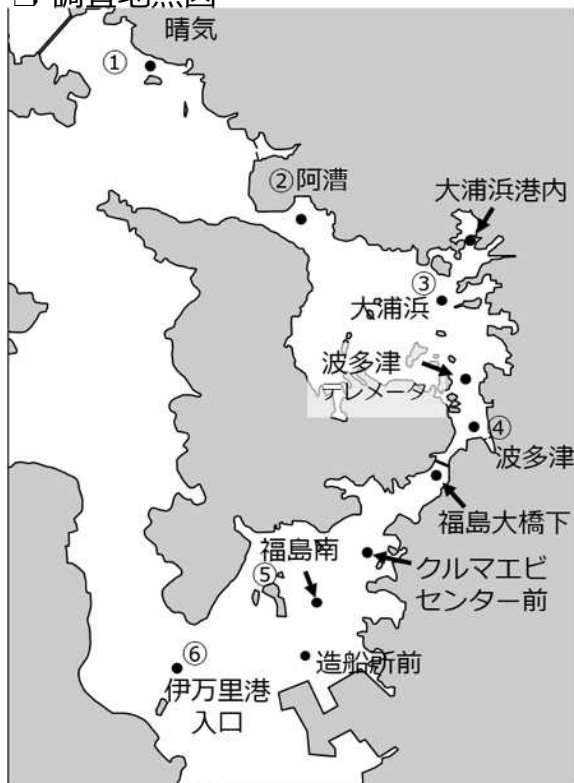
カレニア ミキモトイとシャットネラ属は、魚貝類に被害を与えます。今後の天候・海況によっては、さらに増殖する可能性もあります。養殖業者等におかれましては、海水の着色や養殖魚貝類の状況に注意し、以下の対策を検討してください。

□ <u>貝類</u> 養殖・蓄養	巻貝	警報	・餌止め（アワビ） ・貝掃除等の作業の停止
	二枚貝	注意報	・移動の準備と実行 ・早期出荷
□ <u>魚類</u> 養殖・蓄養		警報	・餌止め ・移動、出荷、網換え、選別の停止

【留意点】

- ・カレニア ミキモトイは魚貝類のへい死を引き起こす非常に有害なプランクトンです。
- ・カレニア ミキモトイは海面が着色していなくても、中底層に赤潮を形成していることがあります。特に、アワビ、サザエ等では、海面が着色する前にへい死する可能性があります。

□ 調査地点図



カレニア ミキモトイ の注意・警戒密度の目安

【対象：巻貝】

注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：50 細胞数/mL



【対象：魚類・二枚貝】

注意基準：100 細胞数/mL

警戒基準：1,000 細胞数/mL

カレニア ミキモトイ

シャットネラ属 の注意・警戒密度の目安

【対象：魚類】

注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：100 細胞数/mL



シャットネラ属

■ 次のページに、調査地点ごとの細胞密度を示しています。

有害プランクトン情報 R7-1号 第14報

赤潮警報 (伊万里湾)

調査年月日：令和7年7月28日

採水時間：8時40分～10時40分

□ プランクトン細胞数

(細胞/ml)

地点名	採水層 (m)	カレニア ミキモトイ	シャット ネラ属	珪藻類
① 晴気 (水深 20.9 m)	0	0	0	22
	5	0	0	96
	10	0	0	172
	B-1	0	0	12
② 阿漕 (水深 18.5 m)	0	0	0	6,430
	5	0	0	1,640
	10	2	0	340
	B-1	0	0	132
③ 大浦浜 (水深 11.9 m)	0	0	0	728
	5	2	0	188
	B-1	0	0	248
④ 波多津 (水深 8.1 m)	0	2	0	1,930
	5	6	62	1,480
	B-1	0	0	2,470
⑤ 福島南 (水深 11.5 m)	0	0	0	3,320
	5	2	0	930
	6.5	266	2	—
	B-1	138	2	20
⑥ 伊万里港 入口 (水深 13.3 m)	0	0	0	770
	5	22	0	88
	8	886	0	—
	10	366	0	6
	B-1	110	0	10

(細胞/ml)

地点名	採水層 (m)	カレニア ミキモトイ	シャット ネラ属
大浦浜港内 (水深 7.1 m)	3.5	10	54
波多津テレ メータ (水深 7.1 m)	6	16	152
福島大橋下 (水深 7.1 m)	5	54	18
クルマエビ センター前 (水深 10.3 m)	5	62	32
造船所前 (水深 15.8 m)	7	422	4